

組合秋のレクレーション報告 ～ 球磨川急流下り編 ～

台風一過、若干寒さが出てきたが、絶好のレクレーション日和に包まれた熊本。
今回は2つのコースに分かれてのレクレーションを行いました。

1つは球磨川の激流を肌で体感する「ラフティングコース」、もう1つは人吉の街中を散策し優雅に球磨川下りを体験する「散策・球磨川急流下りコース」。この号では後者のコースを報告させていただきます。

人吉の名所を散策

ラフティング参加者と別れ、10名という少数グループの散策チーム。結構大型のバスにこの人数で乗り、バスの運転手さんには小さい道へ入ってもらったりと少々気が引けるも、名所周りは時間との戦いということで頑張ってもらいました。ただ、人吉市内までは結構時間もかかるので、子供たちは若干退屈気味。なかには写真のように、前座席の手すりにつかまり、立ったまま寝るという荒業を披露する子もいました。



青井阿蘇神社

まず向かったのは青井阿蘇神社。建造物としては最南端の国宝ということもあり、多くの観光客が訪れていました。ただ、うちのチームは参拝をする前に、神社の前にある池に釘付け。その池には100cmはあろうかという鯉が大量に我々へ「餌おくれ!!」の合図。一袋100円の餌をいくつか購入し与えると鯉の群れは我先にと餌に群がる。「こりゃあでかくなるわな」と一同納得。また、この日はめずらしく神社において結婚式が執り行われており、一般の観光客の方もこの結婚式を心から祝福していたように見えました。



おぼけ??出るの??いや、いるのだ!!

今度はとっても有名なお寺へ行きました。その名も「永国寺」。このお寺はあの幽霊の掛軸があるので有名。大きな本堂には立派な仏像等があり、掛軸はその左側に祀ってありました。本堂の右側(本堂裏手)には「幽霊が出た」という池があり、このときは丁度、すいれんの花の時期が終わりを迎える前でした。場所が場所なだけに一同、厳粛な面持ちで見学しました。ここでひとつ。子供の頃(小学校に上がる前など)はよく人に見えないものが見えるといひます。

純粋な心がそうさせるともいひ、もともと人間が持っている感覚のひとつともいひます。それが歳をとるにつれ失われていくといひますが、このチーム内の子供たちもこのお寺では、急に怯えたり、「なにかいる」とか言ったりと、大人には理解できない行動が多々見られました。本当にこのお寺にはいるのかも知れませんか。

幽霊の掛軸ということでビビってしまい写真を撮ってません。右の写真は雰囲気だけでも感じていただきたく、人吉の観光ガイドパンフレットに載っているものを使用させてもらっています。



大人のお楽しみ工場見学

人吉は多くの酒蔵や味噌蔵があります。参加者の中にはこの見学コースがなければ参加しないという人がいるくらい、このコースのメインイベント(球磨川急流下り)に匹敵する重要なイベントです。今回は永国寺より数100mのところにある「緋月酒造株式会社」へと酒蔵見学へいきました。

酒蔵へ着くと何かと人だかりが。TVの撮影をやっていました。後姿に「おもてなし」と入ったはっぴを着ていることから、男性がフレゼンターになり、女性へおもてなしをする番組なんだと勝手に企画を理解し、それではどなたが来ているのかな??と横からチェック!!。なんと武田修弘さん(元サッカー選手)と麻木久仁子さんでした。

武田さんのブログによると人吉を題材にしたおもてなし番組のようです。# 写真撮影はダメということで、お二人の写真はありません。報告のみです。

話は戻して 工場見学。TV撮影のため若干待ちを喰らった間はありましたが、普段お会いできない方を目の前に興奮気味。見学コースも普段とは違うコースを案内されたように思いました。見学途中も撮影は行われており、「時折静かにそそくさと」な感じで、駆け足的な見学になりました。最後はお土産コーナーにおいて試飲をし、お土産買って出て行くということになるのですが、お土産コーナーは子供たちの戦場。目を離していると試食コーナーでお菓子をポリポリ。気に入ったお菓子はすべてたいらげるといひ大暴挙!!。お母さん方は大変ですね。この緋月酒造では、お土産として写真にある「緋月ボトルストラップ」をいただきました。



裏へつづく

レクレーション部会ニュース	熊本大学教職員組合	
	No. 3 2011.10.3	内線:3529 FAX:346-1247 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp http://union.kumamoto-u.ac.jp/

えっ時間がない!!食事だ!!

この後、味噌蔵を見学しようと思ったのですが、結構時間をロスしたこともあり、ラフティング組と合流して昼食。結構狭い道を大型バスで突き進む。着いた先ではもうみんない匂いをさせながら昼食の真っ最中。散策チームも負けじと肉を焼くも、遅れて来たことにより炭が燃え、火力が落ちていたのでなかなか焼けません。炭火を補充してもらいようやく食事にありつけたのでした。食事の時間が若干時間差ということもあり、ラフティングチームは午後のメニューへ早めに移行。とそこで思ったのが、今回のこの企画。全体で写真を一回も撮っていないということだ。急遽撮影会。そのときの写真がこれだ!! 1. 2. 3!!



全体写真を撮り一安心。散策チームはラフティングチームの午後のメニューの安全を祈ってお見送り。そして自分たちの最終イベント「球磨川急流下り」へ向け、少しの腹ごしらえと休息をとるのでした。



いざ最終イベント球磨川急流下りへ

ラフティングチームを見送り、あの楽しそうな雰囲気になんか嫌なながらも最終イベント「球磨川急流下り」へ向かうことに。先日から台風の影響もあって水量が若干増水。そのため、急流下りはできなくなり、代わりに清流下りへとシフトしたのだ。清流下りといっても増水した分、多少の揺れはあり、球磨川下りを経験したことのない人には結構満足できるものではないかと感じました。行程にして8kmを約90分。人吉城跡を出発してドンフラコ、ドンフラコ。しばらくすると浅瀬に近づき、流れ、揺れともに大きくなり、前に乗っていた船頭さんが舵を取り始めた。船頭さんは二人乗船している(前と後)のだが、後ろの船頭さんは主にスピード、舵取りを行い、前の船頭さんは流れが速いところなどでは、急で大きな舵取りが必要なため、前と後のコンビプレーで急流のポイントポイントをすり抜けていくということのようです。

この日は結構、日差しも強かったのですが、球磨川の水面は風も強く、時折はじける水しぶきが妙に心地よく感じ、子供たちも結構はしゃいでいました。90分という時間はやけに短く感じましたが、川の流れに任せてゆったりと過ごす時間もたまにはいいかななんて感じました。最後に急流下り中間地点で撮影された記念写真でお別れです。みんなとってもいい感じ!!



国宝青井神社



人吉城址

日本三大急流 くま川下り 2011年 9月